

第2第 そけいヘルニア 原因と症状 あれこれ

Dr. 村田の
HGS!

(日帰り・外科・手術)



そけいヘルニアって子供の病気？と思いがちですが、むしろ40代～60代の成人男性に多くみられる良性疾患です。子供のヘルニアは自然に治る可能性もありますが、成人の治療には手術が必要になってきます。

実は、誰でも赤ちゃんの時におなかの中で閉じる穴があります。その閉じていた穴の組織が加齢に伴って弱くなってくることが原因の多くにあたります。重い荷物を持つなどでおなかに力がかかることをきっかけに、下腹部から足の付け根（そけい部）にかけた部分から腹膜が飛び出してくるのが大人のそけいヘルニアです。一般に脱腸と呼ばれます。運動のためと思ってハードなトレーニングを行った結果おなかに負担がかかり、発症することもあります。はじめは立った時とおなかに力が入った瞬間にふくらみに気付くことが多く、その時に痛みを感じなければあわてなくて大丈夫です。しかし時間の経過とともに痛みだしたり指で押してももどらなくなったりと、腫れが急にかたくなったりもします。その場合は緊急手術を要することになります。そけいヘルニアの症状がありましたら、症状がすすむ前に早めに診察を受けられることをおすすめします。心身の余裕のためにも一番の早道です。

そけいヘルニア Q&A

Q 他にも日常生活で気をつけたほうがいいことはありますか？

A くしゃみ、咳をしやすい方は下腹部に負担がかかるので注意が必要です。

便秘をしないことも大切です。また喫煙は細胞の組織をもろくさせるのでリスクがあがります。おなかに力がかかる仕事、また美容師さんのように立ち仕事の長い方もなりやすくなってきます。

読者の皆様からのご質問に誌面上で村田先生がお答えします。編集室までおハガキでお送りください。そけいヘルニアの他、下肢静脈瘤、痔、巻き爪、やけど、床ずれについてもお寄せください。